

1 日時

令和7年10月16日（金）午前9時から午前10時まで

2 開催場所

柏市役所本庁舎3階 庁議室

3 出席者

(1) 選定委員会委員

染谷副市長（委員長）、小島企画部長（副委員長）、鈴木総務部長、中山財政部長、吉田健康医療部理事、島澤高齢者支援課長

【専門委員】小菅瑠香氏（芝浦工業大学建築学部教授）、山本敏子氏（柏北部地域包括支援センター長）

(2) 高齢者支援課（施設所管部署及び事務局）

高橋副主幹、岡主任

(3) 財務状況報告者

甲州智哉氏（公認会計士。財務状況分析結果の報告後に退席）

4 配布資料

- (1) 次第
- (2) 募集概要及び要求水準
- (3) 応募資格審査報告
- (4) 財務状況の分析結果報告
- (5) 応募内容比較表
- (6) 指定管理者候補者の選定審査評価表、評価における意見
- (7) 候補者選定の考え方
- (8) 書類及び面接審査進行スケジュール

5 議事概要

（※以下、染谷副市長が委員長としてが議事を進行）

(1) はじめに

ア 委員長より挨拶

イ 専門委員及び公認会計士の紹介

(2) 書類審査について

ア 資格審査（事務局から説明）

【主な内容】

- ・応募団体は1団体（以下、「応募団体」という。）であった。
- ・申請者の資格及び要件について審査した結果、応募団体がすべての応募資格を満たしていると判断した。

イ 財務状況分析結果（公認会計士及び事務局から説明）

【主な内容】

- ・応募団体の財務状況を分析した結果について、公認会計士が説明を行った。

【主な質疑内容】

中山委員 今回の分析対象は社会福祉法人ということであるが、他の民間企業とは違う注目すべき項目などがあるのか。また、財務の安定性があるという説明であったが、資金収支内訳を見ると、半分が市の補助金残りは市からの受託事業がほとんどである。この点を加味した場合、安定性の評価はどうなるのか。

公認会計士 社会福祉法人は営利企業ではないということを念頭に置いて分析している。ただし、会社を経営するという点において資金繰をすることは民間企業と変わらないため、会社が継続して運営できるのかという観点で分析をする必要がある。

補助金について、補助金を特殊要因として捉えるか継続的なものとして捉えるか。今回の法人の場合、補助金が継続して入ってくるのかという点に少し懸念がある。突発的な補助金として扱っているのであれば少し懸念したほうがよい。来期・再来期以降について補助金を加味した収支計画を作成できるのであれば法人としては問題ないと思われる。

ウ 提案内容の審査（事務局から説明）

【主な内容】

・選定審査評価表の審査項目ごとに、応募団体の提案書の提案について評価を行った。

【主な意見及び質疑応答】

小菅委員 多世代化をしていくためとあったが、市としては多世代交流まで目指すのか、多世代化までを目指すのかどちらなのか。

事務局 介護予防の一つとして多世代と交流とすることでつながりができるとともに多世代の居場所にもなるというような展開が出来ればと考えている。

(4) 書類審査結果について

【決定事項】

応募団体について面接審査を実施する。

(5) 面接審査の実施について（事務局から説明）

【主な内容】

・面接審査は50分（入退出時間を除く）とし、うち、20分をプレゼンテーション、30分を質疑応答の時間とする。

・面接審査は、本日午前10時10分より開催する。